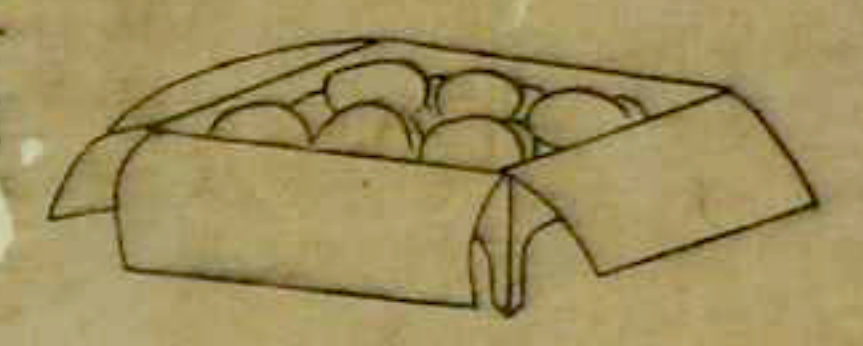


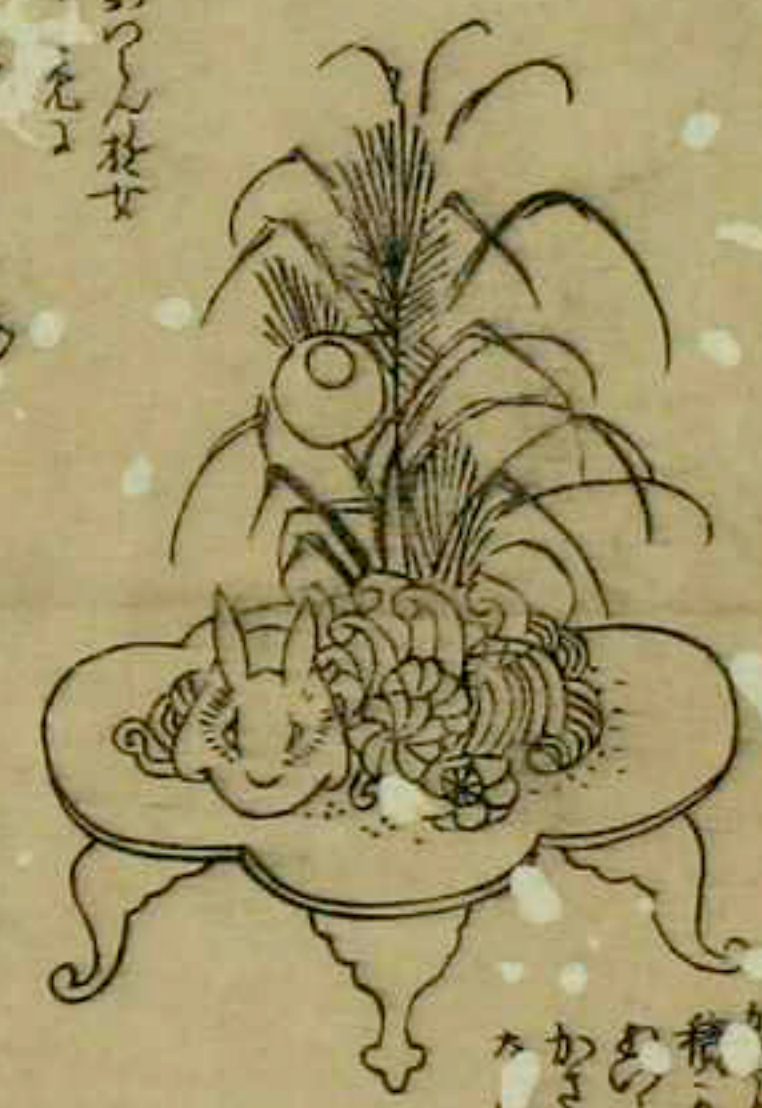
○寂中の月
竹村伊勢大居士家
茶人松尾庵といひ
の刻をすしめ
菓子かん竹詰の上
梅野虫の下に
ひんげん

○巻前舞
これにたゞ一人の
踊り手あり一巻の
舞ありて愛の終に
一巻の舞ありて

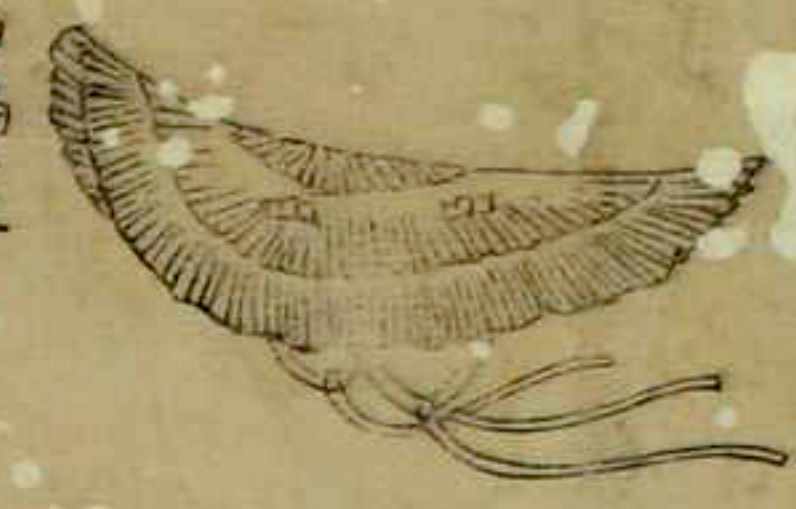


○柳の葉
隅田川木母寺の額と云ふ
君の柳の葉よまはし山
あけぬてはさくさく柳の
葉よ作らざるこの葉と
まはさくかのの柳つから
る

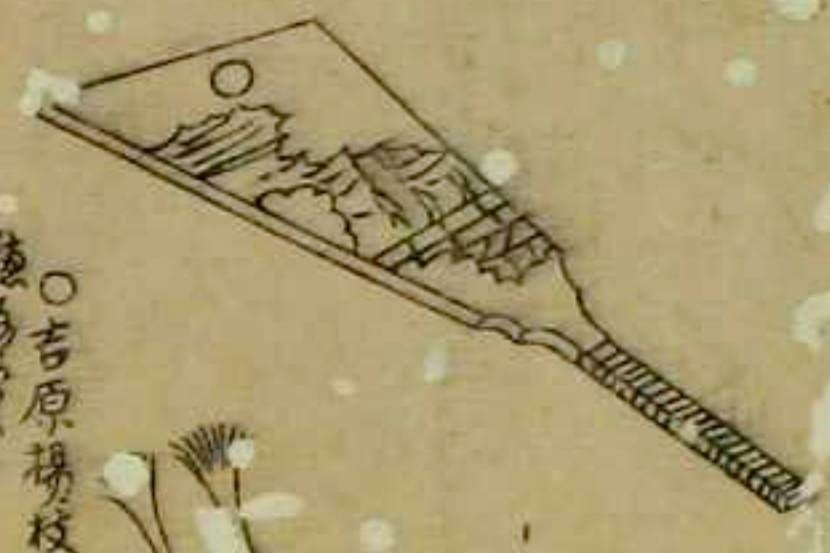
○月の基
ひつと十五夜の日と云ふ



○吉原百膳
二の宮とてくぐりて百膳
の春の時侍下侍
梅野の字かうのま
つこのころ



○編む
ひつと一巻の舞ありて
ひつと一巻の舞ありて
ひつと一巻の舞ありて
ひつと一巻の舞ありて



○吉原楊枝
楊枝
楊枝
楊枝

○喜のまや
さあゆみの酒肴と云ふ
大平とて大さかき
このまやとて大さかき

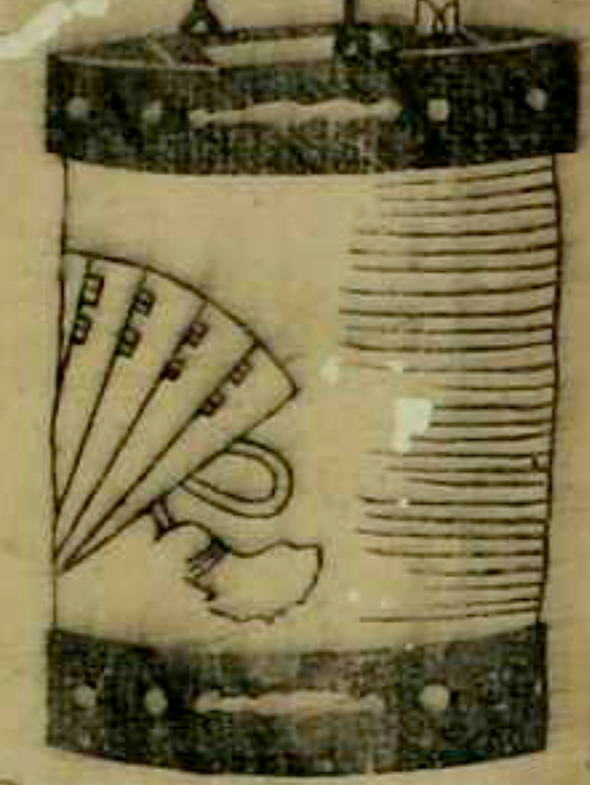


○魚吉
魚の料理
料理
料理



○かはやま
二かきん浅草川
この里のこやまや
枝の魚とつらつら
の江戸前

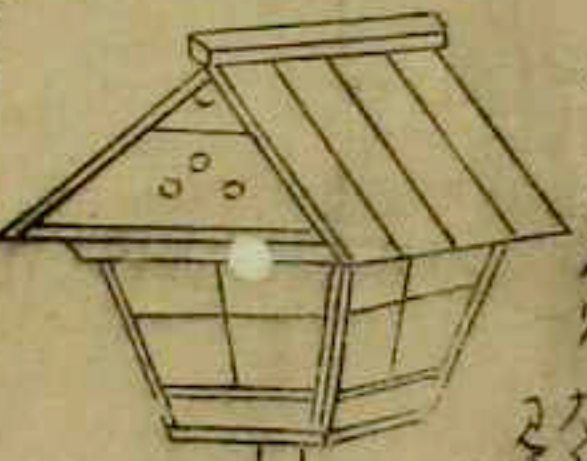
○箱提燈
かきんとたか
かきんとたか
かきんとたか



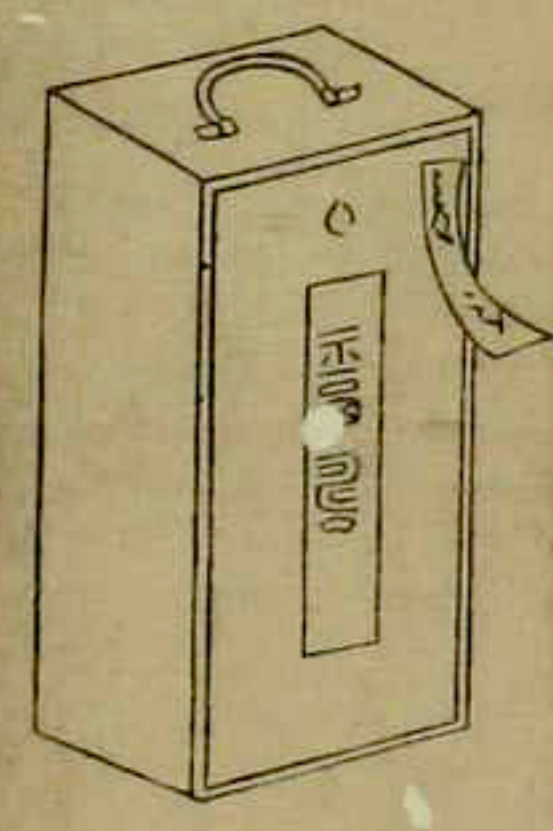
○基提燈
かきんとたか
かきんとたか
かきんとたか



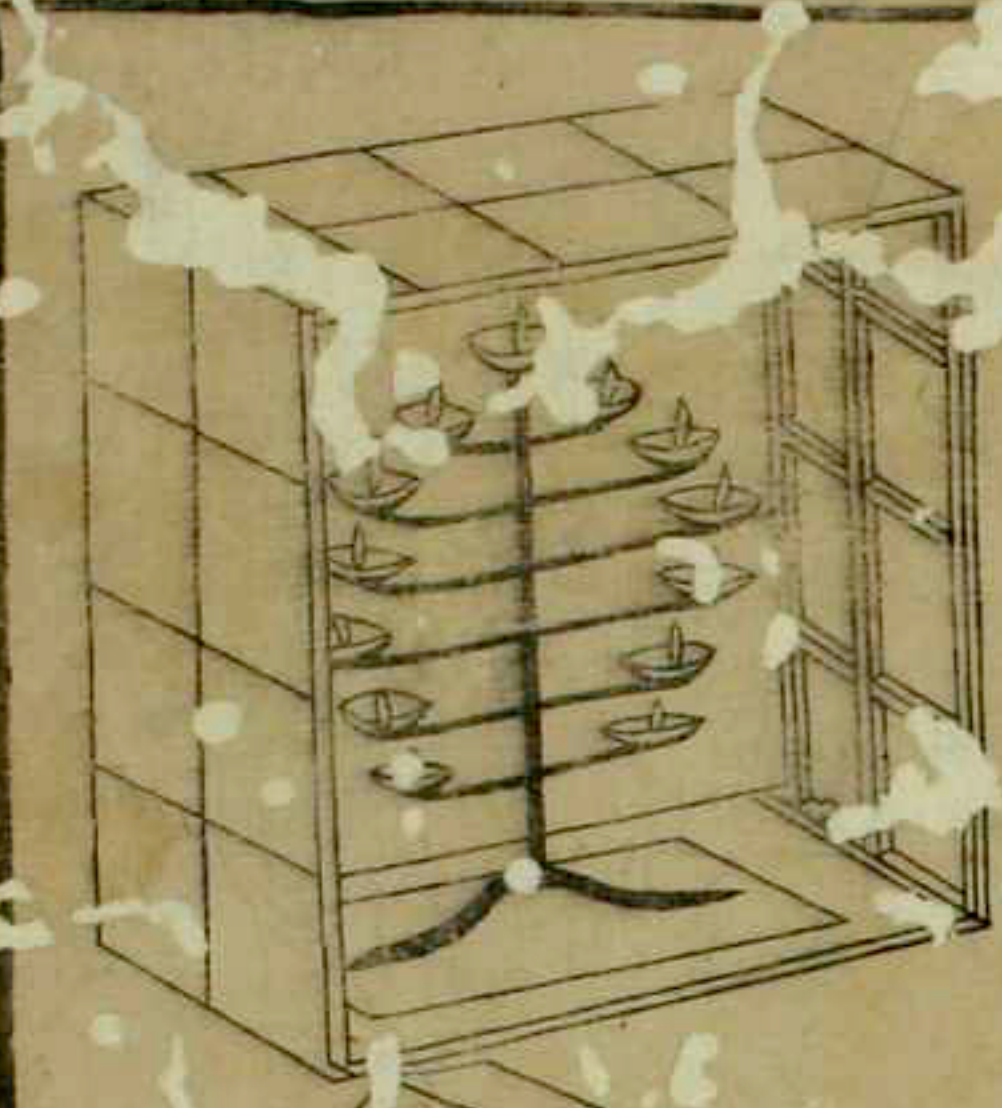
○大行燈
花やま
かきんとたか
かきんとたか



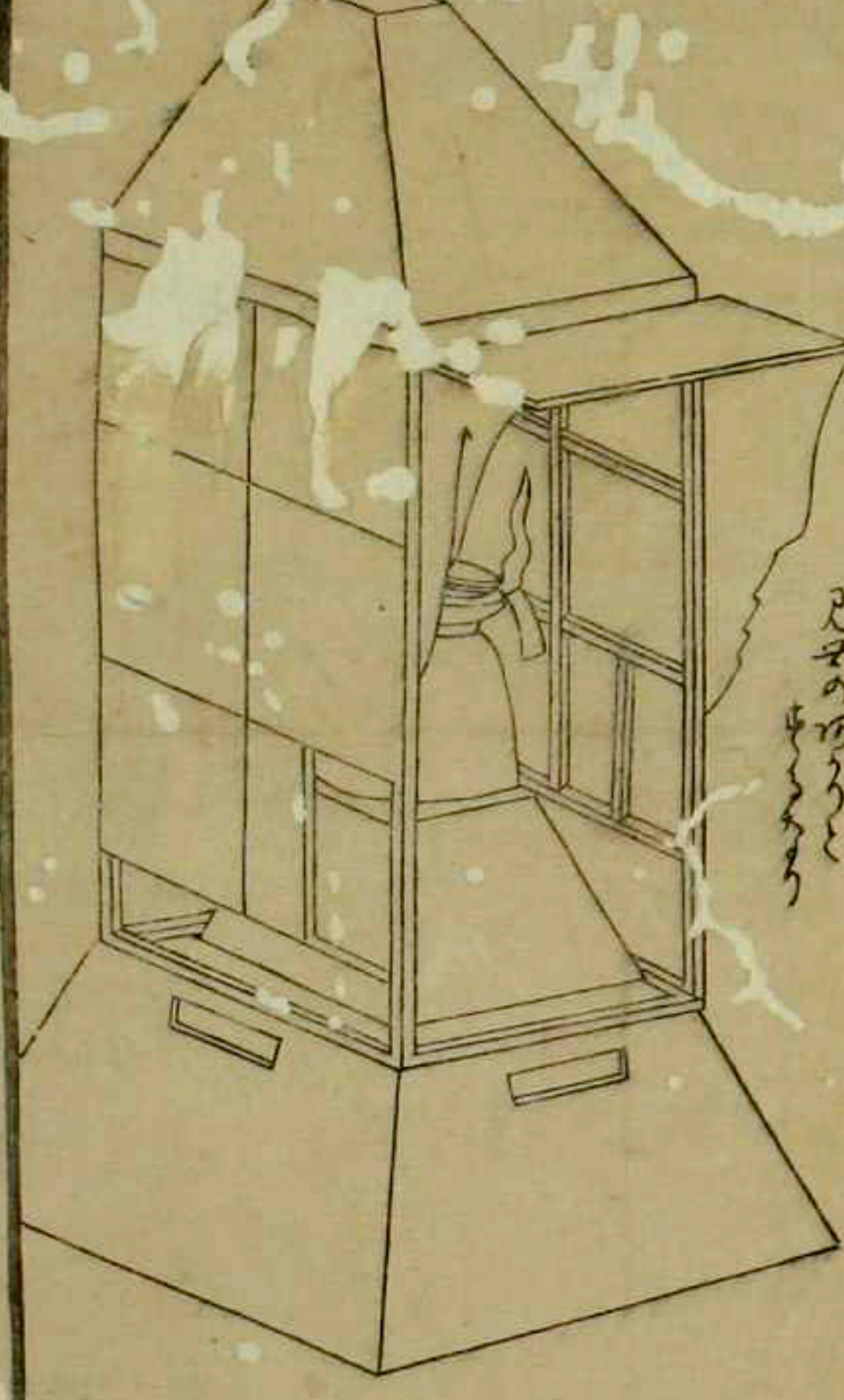
○かや行燈
かきんとたか
かきんとたか
かきんとたか



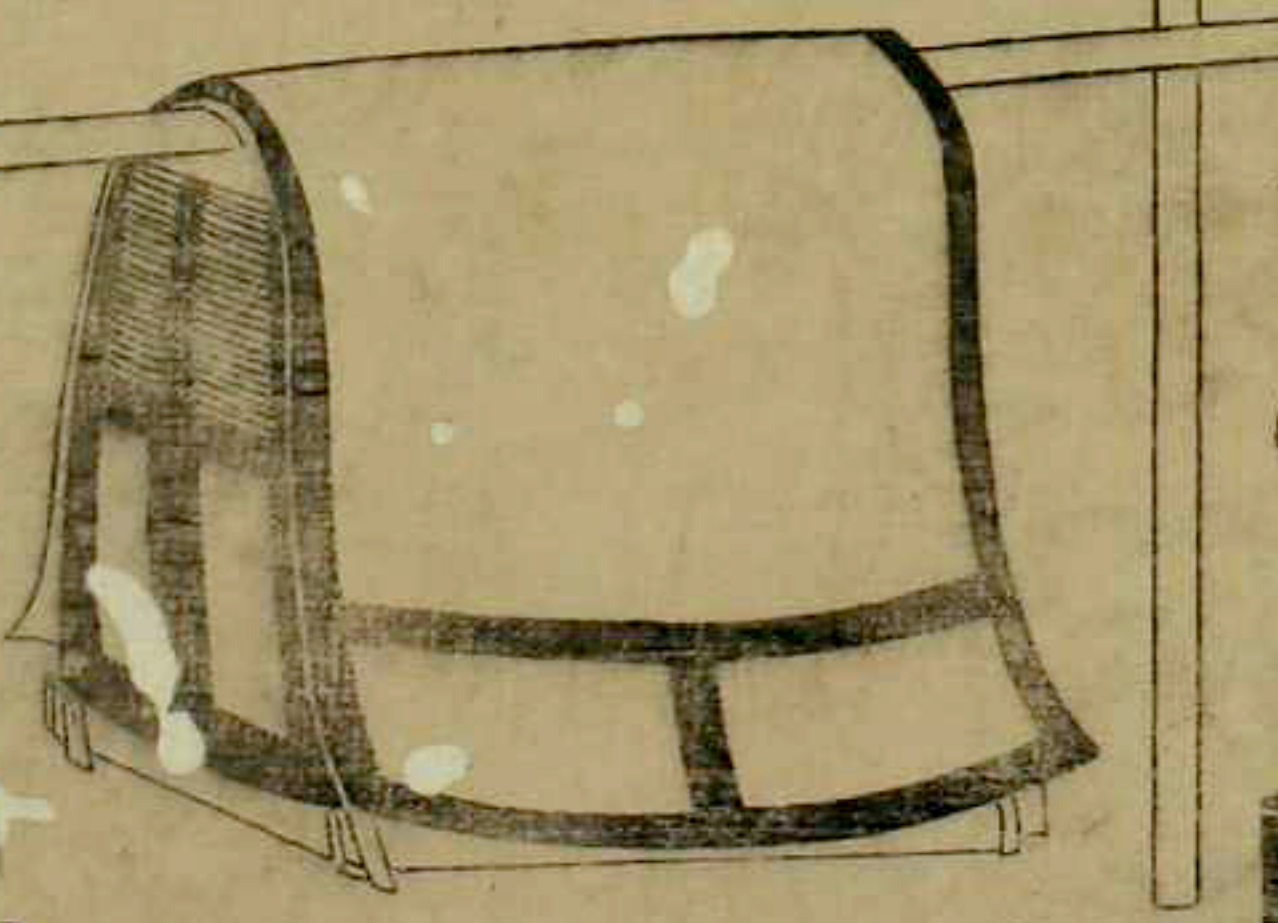
○くわく
客より花とて夜見と
つらつらとて夜見と
つらつらとて夜見と



○十二生明
十二の生明
十二の生明
十二の生明

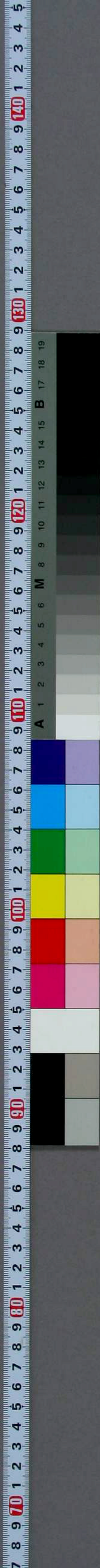


○四手駕籠
客をのりかき
客をのりかき
客をのりかき



○原下駄
原下駄
原下駄
原下駄





76
1779